

## ふ化促進物質資材の低コスト・安定供給技術の開発

Improvement of the Manufacturing Process for Potato Cyst Nematodes-Control Ceramics

材料技術部 執行 達弘・野村 隆文

### ■研究の背景

北海道の主要農産物であるジャガイモの生産現場において、著しく収量を減少させるジャガイモシストセンチュウの発生は重大な問題であり、その解決が喫緊の課題となっています。(独)農研機構北海道農業研究センターを代表とする研究グループでは、(1)ジャガイモシストセンチュウに対して効果の高い新たな防除技術を開発し、(2)既存の防除技術と組み合わせ、根絶を目指した防除モデルを策定して現地実証を行うとともに、(3)本線虫の高精度・高感度検出技術を開発し、根絶を確認するための手法を構築する研究を実施しました。

工業試験場では、(1)において、平成21～23年度に開発した防除資材(ふ化促進物質資材)の製法の改良などによる低コスト・安定供給技術の開発に取り組みました。

### ■研究の要点

1. 新たな原料の選定及び製法の改良
2. 量産方法の改良



### ■研究の成果

1. 北海道で産出される天然無機資源「十勝ゼオライト」と「稚内層珪質頁岩」を用いて、従来の複合化ペレットより、低コスト・安定供給が見込める「原料の混合のみ」などの製法による各種資材を提供しました。
2. 従来の電気炉ではなく、北海道内の企業が所有する連続炉での量産試作を実施しました。
3. 製造コストは「200円台/kg」から「100円台/kg」へと低減できる見込みとなりました。

④ 農研機構北海道農業研究センター、北海道大学、道総研 北見農業試験場、長崎県、雪印種苗㈱

※本研究は、農林水産省委託事業「レギュラトリーサイエンス新技術開発事業」により実施したものです。